常磐毎日
発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 営業部専用1210 編集部1269

呉服 服地 御婚礼 京呉服 ふとん 豊富取揃え
佐川呉服店 平市五丁目 電1486

小野田炭礦(常磐)にも大火
五棟十三世帯を焼く

二十二日真夜中、常磐市小野田炭砿住宅で火災が発生、五棟十二戸（十三世帯）が全焼、五十五名の罹災者を出した。同日午前一時十五分ころ常磐市大字小野田字力石小野田炭砿住宅無職秋久保円蔵さん(六七)方の屋根裏から出火、火は折からの西強風にあおられ水利の便が悪いところからたちまち燃え広がつて附近の住宅に飛火、五棟十二戸、十三世帯（五十五名）二〇一坪を全焼して一時五十分ころちん火した。原因は常磐署で調査しているが秋久保さん方に附近からの煙突の飛火ではないかとみられており、損害は約二百三十五万円。

使えない貯水池
カキ所有者不在で

焼失した住宅は約四十年前に建設され、貯水池五つのカギ所有者が当日は留守でパツクからの水も使用出来ないためこの大事に至つたものである。また小野田部落では市当局に対して水道施設の陳情方を提出している。この火事で焼け出された人達は小野田炭砿住宅集会所に収容される一方小野田炭砿から米、味噌、主食のほか一戸当りに見舞金として千円を贈られた

発見者古内タマさん(五六)談

「お通夜で若葉幼稚園におり、戸外に出た所秋久保さんの屋根ヒサシより三尺位の場所から七、八寸の丸い火が出ていたのを発見、附近の人達を呼び起こしたが、その時はすでに強風のため附近は一瞬にして火の海となつた。」

り災者氏名

罹災者名は次の通り。

▽採炭夫秋久保栄太郎さん(四二)家族三名▽無職秋久保円蔵さん(六七)家族三名▽採炭夫足立正美さん(五三)家族七名▽採炭夫川田清さん(五三)家族五名▽運搬夫志賀栄太郎さん(五三)家族二名▽採炭夫中山茂さん(三七)家族五名▽採屋根修繕職田巻弘さん(三八)家族三名▽横械夫斎藤信吉さん(三二)家族三名▽採炭夫村上和人さん(三三)家族六名▽機械手志賀昭二さん(四四)家族六名▽無職斎藤栄光さん(六五)家族六名▽採炭夫吉田佐太夫さん(三三)家族六名。

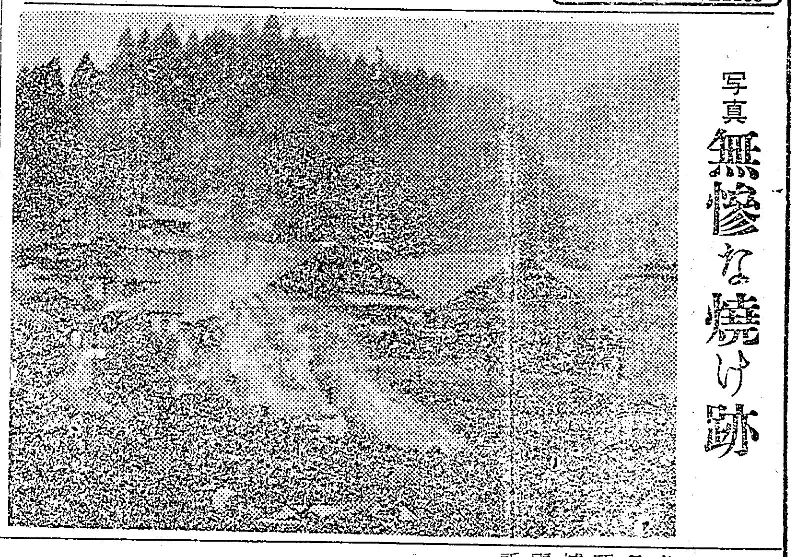


写真 無惨な焼け跡

商店照明の講演会
25日平商議所

平商工会議所主催、平市、平市商店連合会、東北電力株式会社後援の「商店照明について」の講演会が二十五日午後一時から平商議所会議室で照明学の権威者関重広博士を招いて開くことになつた。なお当日臨店指導を受けたい者は会議所まで申込むよう。

これはさきに一丁目、中央通りの商店街の企業診断を実施した際、勧告要旨として照明の改善即ち▽街路灯を設置する▽ネオンアーチの増設、アンドン式看板の設置▽店内を明るくする等があげられ、商店の照明はサイレントセールスマン（物言わぬ売子）として道行く人の目をとらえ、心をうごかし、店内をのぞかせ、更に店内に誘導して購買慾を高めさせる役割を果し商店経営に重要な要素となつていることからこの講演会を開催することになつた。

志賀豊間消防団長に本部長賞

平市豊間消防団長志賀重右エ門氏(五五)=大字薄磯字中街二十四=が三十一年度優良消防団員として晴れの国家消防本部長賞を授与される。

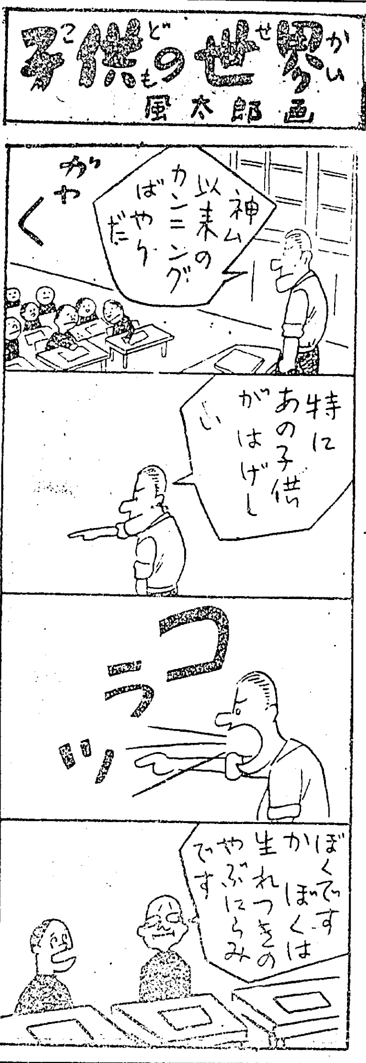
志賀氏は大正七年消防手に拝命され昭和九年伍長、同十年小頭、同十七年副団長、二十二年団長に就任以来現在まで三十九年間防火に尽力、その間の功績は消防装備と施設など多大の功績を残しているもので昭和十七年豊間町薄磯大火の際被害を最少限に止めた。同二十年豊間全域に亘る高潮襲来の際には人命救助及警戒に当る。同二十三年には消防自動車ポンプ二台を購入及び団員詰所新設に私財を提供尽力。同二十四年に豊間町須賀街地内消防道路開設に際し私財地を提供尽力、同二十五年には薄磯貯水池拡張改修工事に私有地を提供、同三十年高潮の襲来に対する警戒に当り被害を最少限に止めたもの。

カメラは田中

大河原氏にらんじゅほう章

好間村消防事業に功績のあつた好間村消防団長大河原茂平氏(五七)にらん綬褒章が贈られる大河原氏は小学校卒業後家業のみそ、しょうゆ醸造業に精を出していたが、大正九年消防手としてスタートして以来十三年一月同村消防組頭に就任、以来現在まで警防団長、消団長として活躍、同村消防のため尽力してきた。現在消防関係では消防協会平支部長、日本消防協会理事の要職にあり、この期間協会や知事、文部大臣などから前後十六回にわたつて表彰されている。

子供の世界 風太郎画



江名港外に女の水死体

きよう二十二日ヒルころ磐城市江名港外で年令四十才前後の女の水死体を伝馬船で漁労に出ていた磐城市江名地町二百五番地漁夫坂本留代志さんが発見江名警部補派出所に届出た。

同所の調べによると身元は同市江名地町二十二番地漁夫佐藤儀三郎さん(五三)の妻美子さん(四〇)と判つた大沢さんは二月五日家出したまま行方不明になつていたもので、儀三郎さんから磐城署に捜索願が出されていた。現因は昨年九月ごろ坐骨神経痛で自宅療養中だつたが神経衰弱と見られている。

寺荒し兄弟捕る

平署は二十二日朝田村郡生れ住居不定無職窃盗前科三犯中野進(三五)と同人の実弟年尾(三八)を窃盗容疑で逮捕した。

両名は二十日午後十時ころ好間村下好間明賢寺=住職滕内得二氏(三三)=に侵入して大経鐘など仏具時価六万一千円相当を盗んだもの。

ラジオ 日東

破片に当り重傷
セメントでガス爆発

二十一日午後四時四十分ごろ四倉町磐城セメント四倉工場内河田鉄工所作業現場で作業中の製缶見習工西山親六さん(一七)は、そばにあつたアセチレンガスタンクが突然爆発したため、その上部鉄板破片に当り左前はく部骨折で二カ月の重傷を負い平市竹林病院で手当中なお現因については平労基署で調査中だがダンクに延火したものらしい。

三百八十万本を植樹
来年度の造林

平林務駐在員事務室では来年度の造林計画を検討中だつたが、このほど管内の山に杉二百五十九万三千本（八百六十六・五町）桧六万八千本（二十四町）赤松七十八万九千二百八十本（二百十二町八反）黒松十五万七千二百本（三十七町五反）から松一万八千四百五十本（五町一反）くぬぎ二十三万二千九百五十本（四十二町五反）計三百八十五万九千二百八十五本（千百八十八・七町歩）を造林計画をたてた。

これは現在石城地方に必要な造林面積二千二百二十五町五反の約半分に当るもので、三十三年にはこれで伐採面積に対して造林計画が順調に行われる。

ドブ狩り

遠野町一帯にドブ密造部落のあることを内ていた中の平税務署ではきよう二十二日大槻係長以下監視係全員が一せいに急襲ドブロク、焼酎、製造器具などを押収した。

有賀課長勿来保健所次長に

有賀寛石城職務事務所総務課長は二十一日付で勿来保健所次長に栄転した。なお後任は山岸恒雄勿来保健所次長が来任する。

銘菓 [illegible]段羊羹 平凡

セールスマン募集（若干名）
◇男女年令問わず
◇通勤可能の者
◇本人自筆履歴書持参
◇委細面談
長尾モーター商会 平営業所 平市田町二五 電七二三

民族の地下足袋運動靴 丸高 TEL649

石炭 コークス
火力の強い 火持の長い カスの少い 徳用石炭
◆電話三七番・二三七番へ 一俵よりお届けいたします
平市田町 常磐炭礦販売会社

マイヤル粉石鹸 代理店 袋屋本店 電510

卒業・入学に是非
☆時計 ☆オルゴール ☆万年筆 ★ポータブルラジオ ★レコード ★楽器
◎御名入配達サービス◎
五丁目 TEL195 金光堂

御定食（もりたくさん）¥50
◇夜間営業いたしております
大衆食堂 さかえ 平駅前 電九八八
出前迅速

春の店内装飾品
各種豊富取揃え
特売中

◇ケース入舞踊人形 相込人形 その他卸・小売
森下玩具店 平市一丁目 TEL602

磐城の恵比壽丸 北洋で消息を絶つ

磐城市小名浜町古港小野義雄さん所有のタラハエナワ船恵比寿丸（四十四トン）＝船長宮城県塩釜市中新田町中野長成氏他十一名乗組＝は、去る一月十六日気仙沼港を出港したまま消息を絶つていることから二十日午後根室海上保安部に捜査願いが出された旨二十一日小名浜海上保安部に連絡があつた同船は出漁中大船渡無線局と連絡をとることになつていたが同局にも連絡なく、また去る一日ソ連領海附近で操業中の漁船がソ連監視船に追跡されている漁船を目撃したと伝えられることから、あるいはソ連船にだ捕されたのではないかとみられている。

調査船に廣栄丸 北洋サケマス船割当

三十二年度北洋サケ、マスハエナワ漁船割当会議は二十日平水産事務所で県業者、漁協組の代表二十名が出席して開き、問題の昨年度出漁調査船五割減船は四倉町新町鈴木賢二氏(六五)が自主的に辞退したため円満に解決した。

ことしの県割当隻数は一隻減、このため鈴木氏が辞退、四倉町鰹洗漁業田中広氏(三七)所有の第一広栄丸（五十トン）がことしの調査船と決つたもの。

このハエナワ漁は昨年から許可制になり、本県から一般船十隻、調査船二隻が出漁、北海道釧路港を根拠地に四月から七月にかけて出漁しそれぞれ数百万円の収益をあげている。

母子家庭の中卒者 壮行会を開く

石城郡未亡人連絡協議会（会長金成キミ氏）では今春中学を卒業して就職した母子家庭の子供達を激励、社会への巣立ちを祝うため、今年から初の試みとして母子家庭就職者を招き市町村ごとに壮行会を行うことになつた。

平職安所調べによる石城地方の母子家庭の今春中卒就職希望者は男子二百三名、女子百四十七名計三百五十名で、このうち男子百十八名、女子百二十二名計二百四十名の六十八%が就職決定し、卒業までには百%就職が見込まれている 平市では二十八日に日取りを協議決定するが四倉町やよい会では郡内にさきがけて二十三日午前十時から玉山鉱泉勝扇旅館で壮行会を開く。

型と技術なら………
高級 大塚の靴
平駅前大通 TEL77

小名濱港に腐乱死体

二十一日午前六時ごろ磐城市辰巳町小名浜港三千トン埠頭東側に年令二十五、六才漁師風の男のふらん死体がひよう着しているのを釣に出た同市上町飲食業田辺与一さんが発見、磐城署に届出た。

同署で調べたところ身元は青森県三戸郡三戸町生れあぐり漁船第百三振興丸の漁夫大沢敏夫さん(三八)と判つた。大沢さんは昨年十二月二十六日振興丸が小名浜港に寄港の際町に出かけたまま行方不明になつていたもので船主から小名浜海上保安部に捜索願いが出されていたが、酒に酔つて帰船する際誤つて海に転落したものらしい。

鈴木ミシン商会 平市五丁目電一〇九八

浪曲大会 四倉福祉協で

四倉町社会福祉協議会＝会長古市寿平氏＝では同協議会事業資金造成のため、来る二十八日午後一時から大浦小学校と大野第一小学校（掛持）同午後六時から四倉小学校講堂に東都から玉川次郎一行を招いて浪曲大会を開く。

なお前売券は地元身体障害者福祉会、遺族会、未亡人会で取扱つている。

今晩のラジオ

◇NHK（第一）
六、〇〇 子供の時間
六、一五 次郎物語
六、四〇 スポーツ便り
六、四五 四局通信
七、一五 録音ニュース
七、三〇 花の星座
八、〇〇 浪曲
九、〇五 ニュース解説
九、一五 歌謡ドラマ
九、三〇 週間社会展望
一〇、一五 放送劇
一一、一〇 きようの国会から

◇ラジオ福島
六、〇五 トニーの童話
六、一五 赤胴鈴之助
六、四〇 永遠に答えず
七、一〇 録音ニュース
七、一五 中合アワー
七、三〇 エンゼルタイム
八、〇〇 素人歌合戦
八、三〇 テルミーおしゃれミュージック
九、〇〇 明色の歌謡ゲーム
九、三〇 ユーモア歌合戦
一〇、〇五 名作アルバム
一〇、一〇 夜の案内
一〇、一五 夜の調べ
一一、〇五 時事解説

笛の詩 4

えと文 谷田部風太郎

オホーツクの章 4

「悪魔が化けているんだ」

啓介は口惜しかつた。

或日、美佐子が、父親と一緒に久しぶりに啓介の家を訪ずれた事があつた。

美佐子は来るとすぐに、玩具や絵本のある啓介の部屋に飛込んできた。

啓介はその時も、童画の山鳥をじつと見つめていたのだつた

「ミサちやん、この絵ごらんよ」

美佐子は、可愛らしいおかつぱ頭の赤いリボンを気にしながら壁の絵を眺めた。

「来るたび見てるわ。うちのパパの画より、きれいですつと良いわ」

「あの山鳥さ」

「あゝ、山鳥ね。羽根がおれたのね。可哀想ね」

「あの山鳥、どうして原つぱへ行かないで、泣いたりしているかわかる?」

「……」

「僕と同じなんだ。ママが死んだんだよ。だから皆から仲間はずれにされて、あゝして泣いているんだよ。そうなんだ、そうなんだよ!」

「……ケイちやん」

山鳥を見つめながら、きゆつと唇をかんで、眼に涙をためて居る啓介を美佐子はけげんそうにのぞき込んだ。

部屋のドアの外で、父親がたたづんで聞いていた。額の皺がふかく喰い込んでいた。

翌朝——啓介が眼を覚ました時。壁の山鳥の童画が消えて、そのかわり同じ所に大きなボール箱がぶら下つていた。

「パパ。パパ!山鳥の画がない!。僕の山鳥の画がないの!」

父親は、柔らかく眼で笑つて静かに立上つた。そして無言で啓介の手を引き、部屋へ連れて行つた。「ほうら啓介、画のかわりに、大きなボール箱があるじやないか。あけてごらん」

「山鳥の画だよ。山鳥の画がないんだよ」

啓介は又走り出した。

「啓介、啓介!」

誰彼を問わず一人でも多くの人々に、山鳥の画の行方を尋ねようとする啓介の心には、父の声も大きなボール箱の中味も、何の問題にもならなかつたのである。

父親は、ふと困惑の色を浮べた。そして、大きなボール箱をもう一度開いて見るのだつた。

錫製のおもちやの兵隊さんが、一人、二人、三人と机の上に並んで行つた。

山鳥の童画は、どこをどう探しても、再び啓介の眼に映りはしなかつた。

あきらめた啓介は、学校で使うクレヨンペーパーを取出してまだはつきりと眼底に残つている小鳥の画を再現させようと一心になつた。何日もかかつた。大きな苦労だつた。

しかし心から求めるものを追つて行く、一途な子供の力には偉大な閃めきがあつた。

（つづく）

今晩の映画

▼世界館 廿六日マデ
七、三〇 関八州大利根の対決
八、五〇 いとはん物語

▼ひかり座 廿五日マデ
六、三〇 特攻魚雷作戦
八、四三 地獄の翼

▼聚楽館 廿五日マデ
六、〇〇 灰色の服を着た男
八、三〇 アレキサンダー大王

▼平館 廿六日マデ
七、〇〇 ああ軍艦旗
われらの皇太子さま
八、三〇 孤独の人

▼民劇 廿六日マデ
六、〇五 流れる
八、一七 女しゆうと共に

▼東映劇場 廿六日マデ
七、一三 らくだの馬さん
八、三〇 青雲の鬼

決算前の
ずばり切つたとり
最後の大処分
防寒衣料品
第一回春物服地発表
23日↓27日
入學、進學用 學童服 豊富
贈つて便利 受けて重宝な 商品券を御利用下さい
◉利益の払戻しとして原価を度外視しての大奉仕です
◉この！絶好の機会に是非店内の特売場を御覧下さい！
衣料品のデパート
鈴藤
平市3 TEL1654